

市民から、ちゅうバス路線への要望強まる

稲津けんご氏が事務所を構える北山町、自宅がある西原町、また、そこから程近い西府町や武蔵台などにお住まいの方から多くいただく要望の一つに、**ちゅうバスの路線拡大**があります。

これらのエリアにもバス停はございますが、利便性が高くないという意見が根強くございます。例えば、生涯学習センターや府中の森市民聖苑に行くには同じく北山町循環で府中駅に出てから、多磨町ルート便に乗り換えなければなりません。

行きたいところにワンストップで行ける**「コミュニティバスだからこそその「機動性」を活かしたルートで運行を進める**ことが急務です。また、複数の路線にまたがるバス停については、**乗り継ぎしやすいダイヤや、無駄の無いルート作成**も提案します。

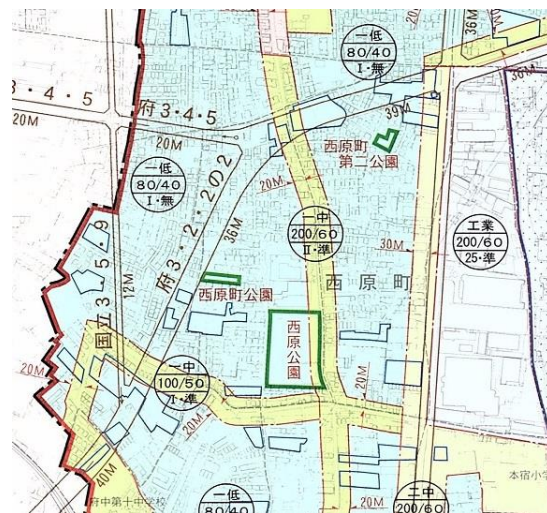


東八道路施工後のまちづくりが急務

三鷹市と国立市を結ぶ東八(とうはち)道路。府中市西原町を通る部分については、2020年の完成を目指して用地買収が70%まで進みました。

同じ丁目や番地でも、道路によって分断されるエリアが出ることもあり、周辺住民からは地域活性に影を落としかねないという声があります。また、事故や公害対策、道路の美化なども考えなければなりません。

これらの問題について稲津けんご氏は、**住民参加による「まちづくり協議会」**を開催し、府中市をあげて取り組む必要があると訴えています。また、**分断されるエリアが双方とも活性化するための補助や、道路利用者や周辺住民に対する安全対策**を講ずることを提案します。



後援会入会のご案内

本会は稲津けんごの政治活動を支援し、地域社会の発展促進を目的としています。皆様からのご協力をよろしくお願いたします。

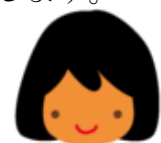
- 口座名義：稲津けんご後援会 (イナヅケンゴコウエンカイ)
- ゆうちょ銀行 振替口座：00120-4-586638
- たましん(多摩信用金庫)北山支店 店番号：040 口座番号：0221857
- 会費：一口 1,000円(振込手数料要)

後援会スタッフ 編集後記

2015年に入り、稲津けんご氏は政治活動を活発化。政策を訴えると同時に、様々なご意見を伺い、いかに政策に反映していくかと考えています。

今回は号外として稲津氏の想いに深く踏み込みました。これからも本通信やホームページ等を通じて情報を発信いたします。

平日は私も事務所にいます。稲津氏本人不在時も気軽にお立ち寄りください。(Y.K.)



INAKEN PRESS

稲津けんご通信

発行元：稲津けんご後援会 代表：稲津けんご
〒183-0041 東京都府中市北山町2-26-15
☎：(042)806-9777 Mail: inazu.kengo@gmail.com
URL: www.inaken.gr.jp



曲げない、負けない、あきらめない 2015年 号外

稲津けんご氏、府中市議選に立つ!!

2015年は統一地方選挙の開催年。府中市議会議員選挙は4月26日(日)が投票日です。稲津(いなづ)けんご氏は「**誰も見捨てない、あなたが主役となる府中市に**」をスローガンに、今回の選挙に立候補する意向を表明いたしました。

稲津氏は、1999年から2011年までの3期12年間、府中市議会議員として活動してきました。立候補にあたり、稲津氏は「今回の立候補までの4年間、一市民として『親の介護』や『市民活動』『民間勤務』などを経験し、ひとりの人間が人生を如何に全うしていくか、またその為に地域や社会環境がどうあるべきかをずっと思い巡らせてきました。様々な社会ルールの線引きや偏見などで見捨てられている人々の現状を黙って見過ごせない。**一人ひとりの市民が安心して暮らし、『いのち』を守る社会を創りたい**」と語りました。

稲津氏は今回の選挙について、市議会議員時代から達成されていない政策や、新たに見えてきた課題を訴え、市民、行政、民間が一体となって問題解決に取り組む重要な選挙と位置づけています。**市全体で取り組む公約と地域に密接した公約**を掲げて、稲津氏が選挙に臨みます。

稲津けんご氏の公約

【市全体で取り組む公約】

- どの世代もいきいきと暮らせる府中市に
 - 災害に負けない府中市に
 - 各世代が共に子育てしやすい府中市に
- ⇒ 詳しくは中面をご覧ください。

【地域に密接した公約】

- ちゅうバスの循環路線の実施
 - 東八道路計画に伴うまちづくり協議会の実施
- ⇒ 詳しくは最終面をご覧ください。



【稲津けんご プロフィール】

1968年府中市北山町生まれ。西原町在住。1999年から2011年まで3期12年にわたり府中市議会議員として活動。親の介護と民間での勤務を経て2015年の府中市議会議員選挙に再挑戦する。

「誰も見捨てない地域社会に」するために

何故、府中市議選に出るのか？



～生まれ育ったまちに恩返し～

稲津氏はこの4年間、厳しい雇用環境や起業の難しさ、「親の介護」と「仕事」の両立の大変さを体験しました。このような中で自らも「地域の方々や友人に励まされ、本当に心が救われた」と語りました。

また、市民相談活動を通じて、今の社会保障制度から取り残されている住民の悲痛な声があることを認識しました。

「悩みを抱えている方々を黙って見過ごせない。誰も見捨てられない地域社会に府中市を変えていきたい」と強く思うように至り、「改めて市議会議員として市民相談を軸に、自分が救われた恩を返していきたい」と決意しました。



～あらゆる差別、偏見をなくしたい～

レッドリボン(左図参照)は HIV/AIDS に対して「偏見を持たず、差別せず、理解し、支援する」ための社会運動の象徴です。国連エイズ合同計画でもシンボルマークとして採用されています。

稲津氏はこれまでも、胸にレッドリボンを着けてきました。「HIV/AIDS 患者のみならず、社会の中にある様々な差別や偏見をなくしていきたい」として、理解と支援を呼びかけています。

～「けんご」の名前は護憲から～

稲津けんご氏の父・英五郎と母・とも子は1962年、憲政記念館で故・江田三郎氏の仲人のもと結婚し、長男を「憲法を護る」の想いを込めて「憲護(けんご)」と名付けました。

稲津氏はその想いをしっかりと受け、規則・条例に基づく議会政治と平和、人権などの憲法の理念を地域で実践していきたいと強く思っています。



3つの政策

ズバリ!!

稲津けんご氏に聞く

稲津けんご氏は、平成27年4月の府中市議会議員選挙に向けて「3つの政策」を掲げています。今回は、稲津氏本人に「3つの政策」について伺いました。

果たして「3つの政策」とは？そして、そこにかける想いとは？
(インタビュー：稲津けんご後援会スタッフ)

① どの世代も健康で、いきいきと暮らせる府中市に

— いよいよ、4年ぶりに市議選に挑戦されますね。

稲津：はい。2012年から民間で働きながら、父の介護や地域活動などを行ってきました。そこで、**訪問診療や終末期ケアを市で充実させる**必要があると痛感しました。まだまだ不足している**特養ホームなどといった高齢者施設も増設**する必要があります。

— なるほど、それが1つ目の政策「福祉・健康」ですね。

稲津：それらに加え、都内自治体でも実施されている**市内飲食店の禁煙化**も入っています。**健康に向けた行政と民間の連携**もとりながら、どの世代も健康で、いきいきと暮らせる府中市を目指します。



② 災害に負けない府中市に

— 続いて、2番目の政策に「災害対策」とありますが。

稲津：民間で働いていた時に、岩手県釜石市で緊急支援活動を行いました。その経験から府中市を見ると、築年数が古い住宅や道の狭い場所、電線が多く張り出している地域などに危機感を覚えます。

住宅の耐震補強を促進し、広域避難場所や通路の整備も行います。

— 「万が一」が起きてからでは遅いですね。

稲津：そうです。それに、実際に起きた場合のフォローも考える必要があります。**必要な物資や支援が全体に行き届く体制整備や被災者の心のケア**も大切です。災害に負けない府中市を築き上げたいですね。

③ ベテラン世代と共に子育てしやすい府中市に

— 3番目の政策「子育て支援」は、どのようにお考えでしょうか。

稲津：府中市でも「待機児童」が多い現状があります。**保育施設の定員・施設増**を図り、**待機児童数を削減**します。そのためには、**在宅保育や保育ママの公的補助**を提案します。

— 子どもを育てる親に向けての対策はいかがでしょうか。

稲津：現代は夫婦共働きというケースが増えていきます。そこで、**母親の就業と父親の育児参加支援**も図ります。人生のベテラン世代と共に手を取り合って、子育てしやすい府中市を目指します。



「福祉・健康」「災害対策」「子育て支援」の3本柱

— 福祉や健康、災害対策に子育て支援。どの世代にとっても重要な課題と言えそうですね。

稲津：もちろん、これら以外にも取り組みたい課題はあります。しかし、これらは「府中市」の今後において、とても重要なものです。市の運営に欠かせない3本柱と言って良いでしょう。まずは、どの世代も安心して暮らし続けていける府中市を目指します。

— 実際に、市民の皆様からも、これらの3本柱を求める声が挙がっていますか。

稲津：お陰様で、ご声援と共に、これらの要望もいただいています。やはり、市民の皆様もそのように考えていらっしゃる、中には具体的な提案をされる方もあります。これらの声を市政に反映させるのも議員の役目です。4月の市議選への励みとなりますし、これからもご声援をいただければ何よりです。

— 今後の活躍を願っています。お忙しい中、ありがとうございました。

稲津：こちらこそ、ありがとうございました。